

# 法と気づき で守る 子どもたちの 未来

講演  
1

中瀬 浩一

NAKASE Koichi

同志社大学教授

『きこえない!』は、理解されにくい  
～学級担任に知ってほしい最近の話題～

「きこえない!」「きこえにくい!」状態にもいろいろあります。難聴ももちろんそうですが、近年、難聴だけではなく様々な要因が明らかになりつつあります。最近の学会や研究会などで話題になっていることを紹介します。もしかしたらこんな子どもがあなたの教室にいるかも。



講演  
2

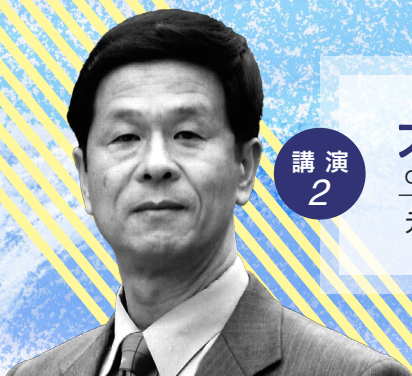
大橋 忠司

OHASHI Tadashi

元 同志社大学教授

法律に則ったいじめの対応について  
～これからの教職員に求められる能力～

いじめ防止対策推進法が施行されて11年が経ちました。残念ながら未だに心身に重大な影響を及ぼす事案が後を絶ちません。学校や教職員はどのような能力をつければ良いのか一緒に考えることができればと思います。



今年の研究会は、同志社大学免許資格課程センターに関わる教員の専門分野の一端を紹介します。学校現場に潜在する課題を少し視点を変えてお話しします。学校現場の課題に応える教職員の力を伸ばすために、法と気づきで子どもたちの未来を守り拓くことを念頭に置いたショートレクチャーを2題用意しました。多くの関係者のご参加をお待ちしています。

2024

12.21 土

[開場] 13:30

14:00 ≫ 16:40

申込〆切: 12月20日(金)

※情報保障を希望される場合は、12月7日(土)までにお申ください。  
なお、12月8日以降のお申し込みの場合、対応が難しいこともありますので、その際はご了承ください。

定員

200名

対象者

学校教育関係者 および  
教職志望者

会場

同志社大学 今出川キャンパス  
良心館 206 番教室 (RY206)

参加無料  
事前申込要

申込方法は  
裏面参照

## 中瀬 浩一 (NAKASE Koichi)

1986年大阪教育大学卒業。1986年～2015年、愛知県立千種聾学校、大阪市立中学校、聾学校、筑波技術大学等の教員。博士（学校教育学、兵庫教育大学）。2015年～現在、同志社大学免許資格課程センター。  
 近著に「改訂 特別の教育的ニーズがある子どもの理解」（樹村房，2024）。言語聴覚士、公認心理師。

## 大橋 忠司 (OHASHI Tadashi)

1978年大阪市立大学卒業。1979年～2015年、京都市の公立学校教員（教諭、教頭、校長、教育委員会）。2015年～2019年、同志社大学免許資格課程センター教授。現在、日本生徒指導学会関西地区研究会副会長、同志社大学嘱託講師、京都女子大学・相愛大学非常勤講師。近著に「中学校教師として生きる 第2版」（樹村房，2024）。

本研究会では、本学教職課程出身者・在学生を中心に、よりよい学校教育のあり方について共に探究する機会の創出およびそのネットワークの構築を目指すことを目的としています。



### 申込方法と受講の流れ

以下から必要事項を入力してお申込みください。



または  で検索

▶ PDFでご覧の方は [コチラ](#) からもお申込みいただけます。

2 講演会当日は会場にお集まりください。  
 ※申込者数によっては会場を変更する場合がございます。

3 講演会後にアンケートにご協力ください。



### 講演会ご参加にあたってのお願いと注意事項

- ▶ 自然災害や講師の急病など真にやむを得ない事情により、当日になって急に開催が中止になる場合がございます。中止になる場合は12月21日（土）12：00までにお申し込み時に入力いただいたメールアドレスにご連絡をいたします。
- ▶ 感染症対策にご協力をお願いいたします。
- ▶ 当日、発熱等の体調不良がある方はご来場をご遠慮ください。
- ▶ 本講演会は申込者ご本人のみ参加いただけます。第三者になりすます行為、講演を許可なく撮影・録画・録音等する行為、また資料等の無断転用は固くお断りいたします。
- ▶ 申込時にご提供いただく個人情報は本学で定める「個人情報保護の基本方針」、「個人情報保護規程」に基づき適切に取り扱い、本講演会の運営に関わる業務のみに使用します。  
[https://www.doshisha.ac.jp/doshisha/privacy\\_policy/about.html](https://www.doshisha.ac.jp/doshisha/privacy_policy/about.html)